

平成12年度秋学期島根県立大学「21世紀・地球講座」開講科目

【情報講座】

講座番号	講師名	テーマ	講義内容	開講日時
1	近 勝彦 張 秉煥	デジタル経済社会の光と陰～新しい創業機会と雇用格差を中心として	今年の沖縄サミットの中心テーマの一つが、ITであったことから、新しい経済社会へ変革をもたらし、旧来からの諸課題を解決する手段として情報技術、情報資本が有用であるとの考えが世界的に広まっています。他方、IT革命の進展は、中高年の雇用や情報弱者にこれまでにない格差・負担を生じ始めています。この経済成長への期待と、所得分化の同時進行の基本原則や問題性は何でしょうか？この現代社会の基本的な変化要因を、この島根地域との関係で解き明かしていきたいと考えます。そして、来るべき21世紀初頭の島根地域のあるべき姿を模索・展望します。	10月 11・18・25日 11月 1・8日 (水) 19:00~20:30

【リレー講座】

講座番号	講師名	テーマ	講義内容	開講日時
2	吉塚 徹	自治体改革の課題と展望-市町村の今日的役割とは何か	個性と多様性を尊重して活力のある21世紀社会を創出していくために、市町村の自己決定権の確立が不可欠の課題となっています。自治体の政策づくりの実績を振り返りながら、分権化時代にふさわしい「市民政府」としての政策開発のあり方を考えます。	10/13 (金) 19:00~20:30
3	田嶋 義介	住民にとって地方分権とは何か-21世紀の自治を探る	今年4月から、地方分権一括法が施行され、地方分権時代がスタートしました。しかし、地方分権はイメージすらまだ理解されていません。住民にとっての意義とは何かを説明します。	10/20 (金) 19:00~20:30
4	平松 弘光	分権時代の自治体法務	自治体で行う一切の法的な意味を持つ仕事のことと言われていた自治体法務をとらえて地方分権を考えます。	11/10 (金) 19:00~20:30
5	藤原 眞砂	地域の盛衰と産業・職業構造	産業のサービス経済化と職業のホワイトカラー化が展開しています。この波と都市の盛衰の関係を考えます。	11/17 (金) 19:00~20:30
6	大橋 敏博	歴史・文化を生かした地域づくり	歴史遺産や伝統的な芸能、工芸芸術など地域の歴史や生活、知恵を伝える文化財の保存・慶尚の事例等を通じて心豊かなまちづくりを考えます。	11/24 (金) 19:00~20:30
7	八田 典子	「文化の香り」とは何だろう？～地域文化の魅力と意義	住人にとっても旅人にとっても心地よく魅力的な地域の在り方を、文化との関わりから考えてみます。	12/1 (金) 19:00~20:30
8	MAGARA, Kinji	北米文化と生きる	30年近くの海外生活で経験した文化差による「驚き」や「戸惑い」を、実例を交えながら話します。タテ社会に生まれ、育った人間がヨコ社会に生きるための英知を探ります。	10/14 (土) 15:00~16:30
9	高橋 睦子	ジェンダーと比較文化：フィンランドの男女平等政策を中心に	比較文化の観点からジェンダー（文化的性差）を論じ、男女平等の先進国のひとつであるフィンランドの事例を検討します。	10/21 (土) 15:00~16:30
10	豊田 有恒	古代朝鮮と出雲	国引き神話で知られる新羅は、朝鮮三国のうち、最も出雲にゆかりの深い国でした。古代出雲王国と新羅の関わりはどうだったのか？についてお話しします。	11/11 (土) 15:00~16:30
11	別枝 行夫	日本・中国の国際交流と島根県	日中の自治体間交流の中で島根県と中国の交流はどのように発展してきたか、また今後はどうあるべきかを考えます。	11/18 (土) 15:00~16:30
12	小林 博	アジアの回復と日本-金融的視点より-	アジアは通貨・金融危機から急速に回復しつつあるが、多くの課題が残されています。ここでは日本の協力のあり方を探っていきます。	11/25 (土) 15:00~16:30
13	柳 基龍	韓国の民俗信仰	韓国文化の基層には民俗信仰と認められるものがあります。上層文化とは別に、主に一般庶民の中で伝統的に慣習化されて来た巫覡（ふげき）信仰、風水信仰などをお話しします。	12/2 (土) 15:00~16:30